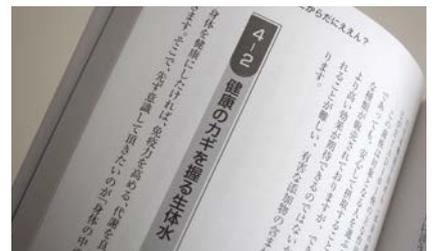
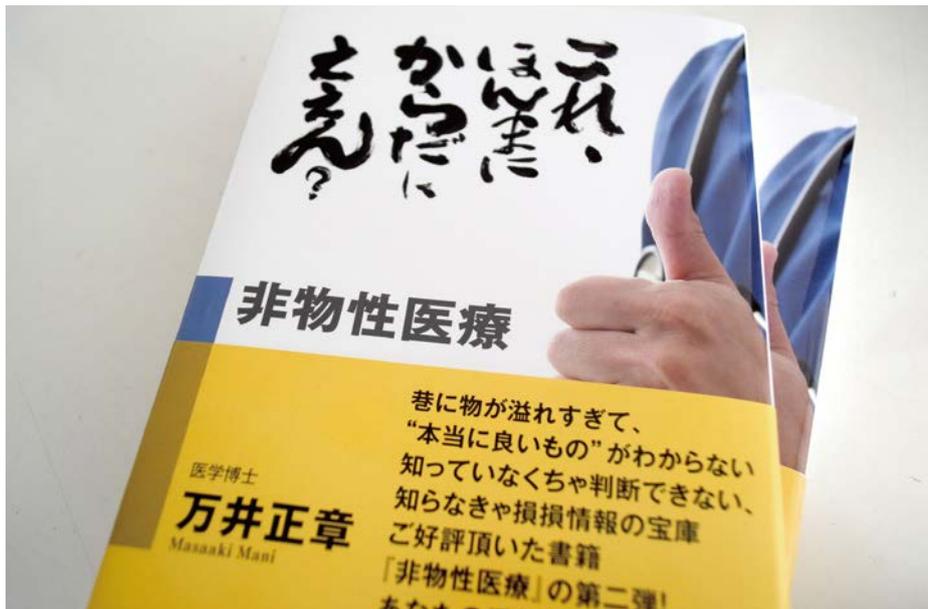




パイウォーターの情報やパイの仲間の動向など、旬の情報盛りだくさんでお届けします。

IBE 顧問万井正章先生（医学博士）の著書 「これ、ほんまにからだにええん？」が発刊。



【万井正章先生プロフィール】

1945年兵庫県生まれ。医学博士。関西医科大学卒業後、京都大学産科婦人科学教室入局。1980年に万井医院を開業。生活様式のあらゆる側面から人間全体（身体・精神、こころ・霊性）の調和と健康を目的としたPRA療法、ゼロ磁場ドーム、サプリメント療法、自然療法などの統合医療・代替医療を取り入れたホリスティック医療を実践。2019年よりIBE顧問。



万井先生が患者に手渡している『処方水』には、パイウォーター浄水器の水を活用されています。医院内にはアクアパイ251のほか、ニュー・ドクターエアバランスも設置。「パイウォーターとはどのような水なのか」。この3年間、その力の数値化にご協力いただきました。本書内には、その治験結果やデータなども紹介されています。

「これ、ほんまにからだにええん？」

発行・発売 / 白川メディック株式会社
価格 / 1,980円(税込)

本に関するご注文・お問合せは、
IBEにて承ります。
詳しくは弊社窓口までお問合せください。

1月30日、IBE顧問である医学博士・万井正章先生の著書「これ、ほんまにからだにええん？～非物性医療～」が発刊となりました。本書では、万井先生が長年にわたり蓄積されてきたデータや知見をもとにした『本当にからだに良いものを選ぶ基準』がわかりやすく紹介されており、私たちの生活にも大いに役立つ内容となっています。

第4章「健康のカギを握る生体水」の項の中では、お勧めしたい浄水器として『IBE社のパイウォーター浄水器』と明記されています。2018年からの3年間、万井先生は波動医療の観点からパイウォーターという「水」について、さまざまな治験と考察を積み重ねてこられました。本書内でも「ただ水をろ過するだけでなく、有害な化学物質や重金属を極力含まず、高いエネルギーを

持っている。自然界に流れる水の状態に近く、すべての基準をクリアした水を生み出しており、飲料水や生活用水として最高の水を提供してくれる」とパイウォーター浄水器を評価されています。

発刊にあたり、万井先生から以下のようなコメントをいただきました。

「新型コロナウイルスが感染している中、自身の防衛力、免疫力、自然治癒力を高く維持することがより重要になります。そのためには、よい水を選ぶこと。よい水を選ぶことは、生命エネルギーを高く維持するためには不可欠なチョイスです。この本が皆さんの日々の健康維持に役立つことができれば、これほど嬉しいことはありません。

健康のために、私たちは何を選ぶべきなのか。その一助となる一冊です。